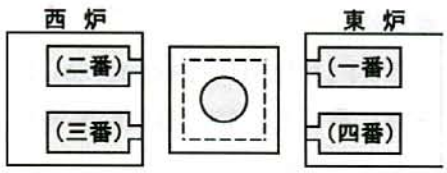
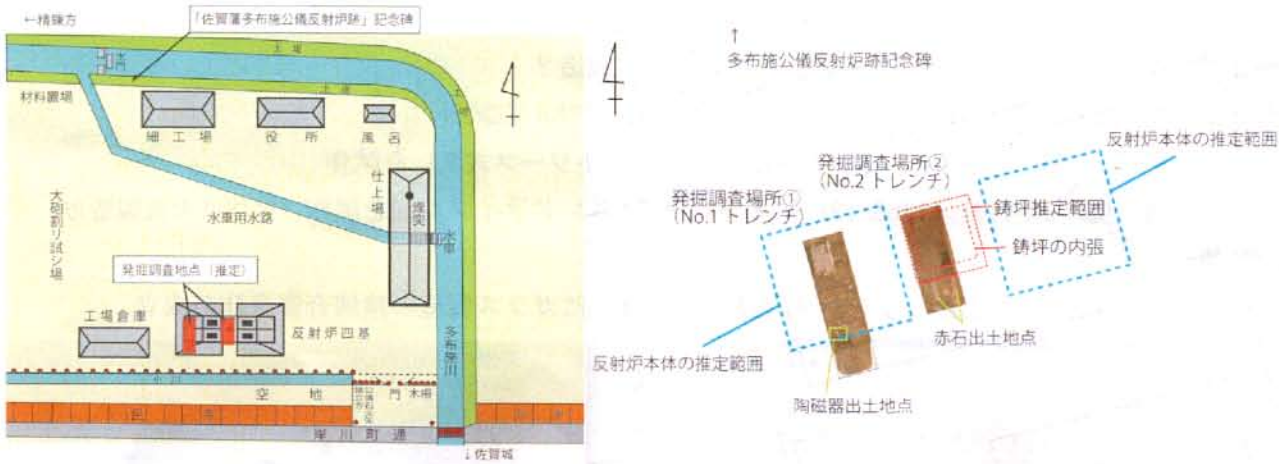
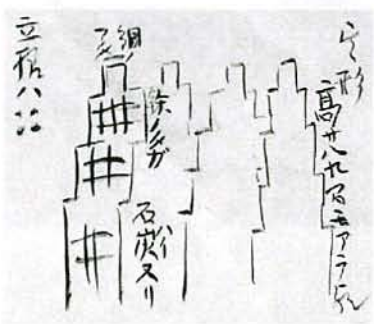
多布施反射炉跡

設置目的　幕府への鉄製砲供給
鋳造計画　24ポンド砲25門・36ポンド25門（幕府規格）
起　工　嘉永6年9月（1853.10）
竣　工　嘉永7年3月（1854.04）
炉 配 置　西炉2炉・東炉2炉（計4炉）の対向（H字）型配置
平 錐 台　水車1基・三連錐台2基（6座）
鋳造実績　24ポンド砲36門・30ポンド30門・36ポンド砲28門・150ポンド砲3門
解　体　明治4年7月（1857.08）～ 安政6年10月（1859.10）





多布施公儀石火矢鋳立所見取図と多布施反射炉跡発掘地点『品川御台場』品川区立品川歴史館



「塵壺」（長岡市立中央図書館蔵）

西炉本体の胴木基礎検出状況（2010）

鋳坪の内張り構造（南辺）

鋳坪内部の鋳砂と耐火レンガ等の廃棄状況